

授業科目 日常生活活動学				科目コード番号
【担当教員名】 大山 峰生	対象学年	2	対象学科	作業
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30
【概要及び学習目標】				
<p><概略></p> <p>日常生活動作(ADL)と日常生活関連活動(APDL)の定義と範囲、評価の基準を理解する。残存機能を活用し、いかに自立させるかという作業療法士としての関わり方を学習する。補助、代償手段としての自助具、リハビリテーション関連機器についても学ぶ。</p> <p><学習目標></p>				
回数	学習の主題	学習内容		学習方法
1	ADLの概念	ADLの定義およびその理解		講義
2~4	ADL評価および治療計画の立案	ADLの動作分析、評価法の習得、治療計画の立案 評価法の紹介		"
5	ADL訓練および指導法総論	運動学習法、指導順序の理解		"
6~12	ADL訓練および指導の実践	食事、排泄、起居移動、入浴、整容、更衣、コミュニケーション、家事動作などの具体的訓練、指導法の習得		講義、討議
13~14	自助具、リハビリテーション関連機器	自助具、リハビリテーション関連機器の紹介および機能解析		"
15	生活環境	生活環境改善のチェックポイントと実際		"
【評価方法】 出席日数、期末試験				
【履修上の留意点】				
【使用図書】				
教科書・参考書等	書名等	著者名	発行所	発行年・価格・その他
教科書	作業療法学全書第10巻 作業療法技術論2 ADLとその周辺～評価・指導・介護の実際	日本作業療法士協会	協同医書出版 医学書院	2000年
参考書				